

令和4年度指定管理者制度導入施設の管理運営業務の年度評価 評価基準表

施設名	豊中市市民ホール等
所管部(局)課	都市活力部魅力文化創造課
指定管理者	JCD・日本管財・大阪共立グループ

評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
1 基本姿勢	<p>管理運営の基本的な考え方が、法令等をふまえ、公共の利益の増進に合致したものであるか</p> <p>施設の性格、設置目的及び市の施策等を的確に把握し考慮した管理運営であったか。また、市と積極的に連携・協力し、市政運営の一翼を担っていたか</p>	<p>令和3年度に引き続き、令和4年度も施設の性格や設置目的に基づいて公平・公正な管理運営が継続して行われた。</p> <p>市と指定管理者で毎月定例会議を行い管理運営等について意見交換し、市からの指摘や意見を現場従業員に伝達及び周知する体制を整えている。以前は書面のみでのやりとりが多かったが、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大が落ち着き、対面でのやりとりが戻ってきた。報告・伝達等に問題はなかった。</p>	B
2 事業計画	<p>「人材育成・ボランティア組織コーディネート事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか</p> <p>「鑑賞事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか</p> <p>「貸館事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか</p> <p>「情報提供事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか</p> <p>「相談事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか</p>	<p>人材育成・ボランティア組織コーディネート事業について、令和元年より本格始動した「とよなかATRSワゴン」は新たに3期生を迎え、1期生は卒業し登録アーティストとなった。新型コロナウイルス感染拡大下において苦戦しながらも続けてきたアウトリーチをはじめとした演奏活動は地域との接点づくりやファンの獲得に繋がり、より豊中市で活動するアーティストとして根付いてきたと感じられる。オーディションへの応募者が年々増えているほか、レジデントアーティストの演奏会にも多くのお客さんが入るようになってきている。また、伝統芸能館でも新たに子ども向けワークショップを行っており、施設の個性を活かしながら事業を実施することができる。</p> <p>鑑賞事業については、「センチュリー豊中名曲シリーズ」において、令和3年度より年間を通したテーマを設定し、ポスター等のデザインを一新するなど、大きな改革を行い関心を集めた。令和4年度においては開館以来初となる年間平均来場者数1,000名超を達成した。ほかにも「小田香氏によるリサーチプログラム」や「豊中から世界へ 新宮 晋展」など、地域にフォーカスを当てたものや、豊中市ゆかりのアーティストを活用した事業も積極的に展開した。</p> <p>貸館事業については、すべての施設で年間平均利用率がおおむね過去最高水準程度まで</p>	B

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
		<p>「友の会事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか</p> <p>「広報・宣伝事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか</p> <p>「コミュニケーションロビーの運営」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか</p>	<p>回復した。</p> <p>情報提供事業について、館内チラシラックを用いての情報提供等のほか、バーチャルツアー（360度3D映像）も実装した。</p> <p>相談事業については、見学・相談会のほか、個別の見学にも可能な限り対応している。</p> <p>友の会事業について、確保すべきサービス水準値を下回る結果となった。新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いてきた中、著名アーティストの公演誘致や優待サービスの拡充等を行ったが、思ったように結果が芳しくなかったように思われる。今後の創意工夫に期待したい。</p> <p>広報・宣伝事業については、新たに公演アーカイブの構築と取り組み、特色ある公演の実績をレポート記事とともにWEBサイトに掲載することで、事業成果の可視化と新たなファン層の獲得、劇場ブランドの更なる発信強化に努めるなど、創意工夫が見られた。</p> <p>コミュニケーションロビーについては、令和3年度に続いて明るく雰囲気の良いカフェが継続運営されている。当カフェを利用するために来館するファンもおり、施設全体を活気づける役割を果たしている。令和4年度からはこの場所を活用した演奏会などの企画も始まっており、今後の事業展開に期待ができる。</p>	
3	確保すべきサービス水準	<p>文芸センター大ホールの年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100)</p> <p>文芸センター中ホールの年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100)</p> <p>文芸センター小ホールの年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100)</p>	<p>最高評価サービス水準値；85% 確保すべきサービス水準値；70% 実績値；79.4% 確保すべきサービス水準値を達成することが出来た点を評価する。</p> <p>最高評価サービス水準値；85% 確保すべきサービス水準値；70% 実績値；83.1% 確保すべきサービス水準値を達成することが出来た点を評価する。</p> <p>最高評価サービス水準値；85% 確保すべきサービス水準値；70% 実績値；97.7% 最高評価サービス水準値を達成することが出来た点を評価する。</p>	B

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
		ローズ文化ホールの年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100)	最高評価サービス水準値；75% 確保すべきサービス水準値；60% 実績値；75.5% 最高評価サービス水準値を達成することが出来た点を評価する。	
		伝統芸能館の年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100)	最高評価サービス水準値；85% 確保すべきサービス水準値；70% 実績値；78.7% 確保すべきサービス水準値を達成することが出来た点を評価する。	
		市民ギャラリーの年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100)	最高評価サービス水準値；75% 確保すべきサービス水準値；60% 実績値；63.5% 確保すべきサービス水準値を達成することが出来た点を評価する。	
		文化芸術センター展示室の年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100)	最高評価サービス水準値；75% 確保すべきサービス水準値；60% 実績値；93.7% 最高評価サービス水準値を達成することが出来た点を評価する。	
		文化芸術センター多目的室の年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100)	最高評価サービス水準値；75% 確保すべきサービス水準値；60% 実績値；91.2% 最高評価サービス水準値を達成することが出来た点を評価する。	
		文芸センター、ローズ文化ホールの年間来場者数合計 (人)	最高評価サービス水準値；500,000 人 確保すべきサービス水準値；410,000 人 実績値；427,778 人 確保すべきサービス水準値を達成することが出来た点を評価する。	

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
		4 ホール（文芸センター大ホール、中ホール、小ホール、ローズ文化ホール）で実施する事業の1事業あたりの平均参加率（参加率＝1事業の来場者数（チケット販売数）/ホールの客席×100）	最高評価サービス水準値；75% 確保すべきサービス水準値；50% 実績値；62.0% 確保すべきサービス水準値を達成することが出来た点を評価する。	
		友の会の会員数	最高評価サービス水準値；1,500人 確保すべきサービス水準値；1,000人 実績値；798人 確保すべきサービス水準値を下回る結果となった。	
4	施設効用の発揮	当該施設の管理運営を担うのに相応しい人員を配置し、職員の質の向上を図る方針や計画を遂行しているか 安心安全な維持管理、公平公正な使用承認の判断といった施設運営等、管理運営が適切に行えているか	市と連携した事業展開を行うなど、市政運営の一翼を担っている。 職員は豊中市及び豊中市民への理解が深まってきており、以前よりもより解像度の高い事業が企画されるようになってきている。 施設の維持管理・運営については、法令等に基づき適切に行われ、南部地域活性化の拠点としてのローズ文化ホールの活用も積極的に行われている。今後、伝統芸能館、市民ギャラリーを含めた文化施設4館の連携による取組みを期待する。	B
5	財務健全性	貸借対照表は健全か 損益計算書は健全か 資金保有（期末残高）は健全か （当該事業の）収支状況・収支計画は適切か	指定管理団体のうち1社について受注損失引当金が計上されており、影響が多少気かりではあるが、強固な財務基盤に支えられ、他の2社を含めて3社ともに財政状況は良好であり、経営の安全性を欠くような所見までは認められない。 また、3社ともに収支状況・収支計画も適切と認められる。	A
6	市民満足度への配慮	利用者への接客対応は適切か。また、サービスの向上が図られているか 地域の市民や団体、近隣公共施設等と連携（協働）し、施設の効用を発揮させているか	利用者アンケートで、施設利用満足度における職員の対応の項目で、満足とやや満足を合わせると、文化芸術センターは92.5%（前年度92.6%、前々年度89.2%）、ローズ文化ホールは87.0%（前年度82.7%、前々年度83.9%）、伝統芸能館84.0%（前年度84.6%）、市民ギャラリー88.6%（前年度100%）となっており、各施設ともに高評価となっている。	B

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
7	従業者への配慮	<p>福利厚生や労働安全衛生に係る制度が充実しているか</p> <p>勤務時間、休暇制度等が法令に適合するとともに、職員の健康や仕事と生活の調和に配慮したものにしているか</p> <p>その他、労働関係法令を遵守しているか</p>	<p>概ね良好である。</p> <p>但し、労働基準法上の義務に鑑み、労働時間の管理が不十分な点につき改善を求める。</p>	B
8	危機管理体制	<p>情報管理・個人情報の保護の重要性について理解し、個人情報の漏えい、不正利用を防止するために整えた体制が堅固であるか</p> <p>緊急事態発生等への危機管理に対する体制が堅固であるか。また、防災訓練の実施内容がさまざまな事象を想定した実践的なものであったか</p>	<p>個人情報保護に係る事故等はなかった。受付の電子化を進めているが、大きな不具合は今のところ発生していない。</p> <p>防災訓練は定期的実施している。また、新型コロナウイルス感染対策は緩和しながらも気を引き締めた運営がなされており、感染拡大や大きな事故なく運営されている。</p>	B
9	その他	<p>「自由提案」とした事業を事業計画書に則し、積極的に実施したか、また事業内容が施設の設置目的を踏まえた創意工夫が見られたか</p>	<p>市内南部地域活性化への取り組みとして、ローズ文化ホールを活用した自主事業を展開。昨年度に引き続き大阪音楽大学出身者が在籍するブラック・ボトム・ブラス・バンドを招へいし、小学校へアウトリーチやローズ文化ホールでのコンサートを行った。特にとよなかARTS ワゴンを中心とした小学校へのアウトリーチには力を入れており、新規校6校を含む全10校、97回の実施となった。</p>	B

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
		総合評価	<p>令和4年度は第1期の終盤(令和元年度～令和2年度頃)から令和3年度にかけて行われた地域とのつながりを意識した「豊中ならでは」の事業を推し進める1年となった。さらに、新型コロナウイルス感染拡大への対応が緩和され、利用者が戻ってきたことも追い風となった印象がある。</p> <p>令和4年度は、4月1日にリニューアルした中ホール(アクア文化ホール)での「リニューアル記念 日本センチュリー交響楽団メンバー×ピアノデュオ デュオール」から幕を開け、クラシック、ポップス、現代音楽、伝統芸能・演芸、ジャズ、パントマイム等さまざまなジャンルの公演を実施した。パートナーオーケストラである日本センチュリー交響楽団を起用し、令和3年度より大きく改革し集客面で大幅に改善された「センチュリー豊中名曲シリーズ」や、文化芸術センター所蔵のチェンバロを活用した「中野振一郎チェンバロリサイタル」、また、豊中市内で活動するアーティストやアートコーディネーターを育成する「とよなかARTSワゴン」の運営及び活用や、ほかにも豊中市出身のアーティストを起用した事業、豊中市の地域を調査する事業など、「豊中ならでは」を意識して事業展開されたことは評価に値する。</p> <p>貸館においても利用率が回復し、新型コロナウイルス感染拡大以前の数字に近いものになってきた。この数年で培ったオンラインでの事業展開技術や動画・SNSを活用しての広報術、危機管理に関するノウハウは、市民ホールとしての品質向上に大きく役立っていくと考えられる。</p> <p>一方で、友の会事業は昨年度からほとんど変わらない数字となり、課題が残る結果となった。今後のあり方について検討していく必要がある。</p> <p>今年度も引き続き、新型コロナウイルスのクラスター感染や個人情報漏えい事故など、大きな事故なく1年を終えられたことを評価する。市民ホールという性質上、光熱費の高騰に大きな影響を受けることとなった点に不安はあるが、今後も引き続き、創意工夫と緊張感のある運営を期待する。</p>	B

(評価の基準)

- A ; 優れた管理運営状況である
- B ; 問題のない管理運営状況である
- C ; 改善を要する管理運営状況である